

人権啓発センター だより

平成26年3月
No.3

(公財) 高知県人権啓発センター



21世紀は人権の世紀！

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。世界人権宣言にうたわれているこの理念は、人類普遍の原理であり、日本国憲法においても、法の下での平等及び基本的人権の保障について定められている。

この理念のもとに、すべての人々が一人の人間として人を大切にし、大切にされる人権尊重の社会をつくることは、私たちみんなの願いである。

しかし、現実社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、HIV感染者等、外国人、などに対する人権侵害の問題が依然として存在しているだけでなく、インターネットによる人権侵害など新たな人権侵害も起きている。

21世紀は人権の世紀と言われ、はや14年が経過した。今こそ私たちは、力を合わせてあらゆる人権問題の一日も早い解決を図っていかねばならないと考えている。

(研修啓発課 高見)



人権あれこれ

情けは人のためならず

～親切が広く交換される仕組みを幼児の日常生活で初めて確認～

以前このようなタイトルの記事を見ました。

「大阪大学の研究では、大阪府内の5、6歳児70人を対象に日常の行動を観察。1人がおもちゃを貸すなどの親切な行動をとった際、周囲1メートル以内にいた他の児童1人のその後10分間の行動を、日常時と比較した。その結果、近くにいた児童が親切を行った児童に対してとった親切行動は、日常時の1時間あたり0.47回から5.58回へと大きく増加。体に触れたりして仲良くしよう

とする行動の頻度も2倍以上となり、社会間接互恵性が幼児期から日常生活で発揮されていることが明らかとなった。」 (2013. 8. 9 産経デジタルより)

タイトルのことわざは、人に親切にすると巡り巡って今度は人から親切にされるという意味ですが、このことわざの生命線は、自分が親切にされたいためにということではなく、この巡り巡ってという情け(親切)の動き、交換が伝搬するという点にあります。その力を私たちは与えられているのです。

いじめや、ハラスメント等の社会問題の中にあって、日だまりを見つけた思いがしました。 (研修講師 竹村)



じんけんライブラリー

一押し本

図説 人口で見る日本史

著／鬼頭 宏

PHP研究所 (1,470円)

近代工業文明のもと、大きな経済成長をとげ、爆発的な人口増をみた日本。ところが、21世紀になって我が国の人口は減少に転じた。高齢化社会、少子化社会、日本経済社会という大きな波に浮き沈みする「人権」を「人口」という切り口で考えてみよう。

(研修講師 山下)



ちょっといい話

NHKラジオ深夜便「明日へのことば」のコーナーに出演された、歴史研究家の白駒妃登美さんが含蓄のある話をされていました。

「正岡子規は30歳代半ばに脊椎カリエスで亡くなった。彼は痛みの凄さに何度も自殺を考えたが、どんなに痛くても苦しくても、生かされている今を平然と生きることが本来の、悟りなんだと覚悟していた。私も子宮頸がんが肺に転移をしたときには、一時死を覚悟したが、死を迎える瞬間までは生かされている。子規のように今を大事にして一瞬一瞬

を自分らしく生きていこうと思った。これまできっと何かやることがあるから生かされてきた訳だから、死ぬということは、天がこれまでよく頑張ったねと言ってくれている時だという気がする。全てを受け入れて感謝して生きていきたいと思います。」

NHKラジオ深夜便より



事業報告

ピックアップ

人権ふれあい支援事業を実施しました

人権ふれあい支援事業はNPOやボランティアグループ等の民間団体が、自主的におこなう人権意識の普及・高揚を目的とした交流体験等の活動を支援することにより、人権尊重の社会づくりの推進を目的とする事業です。

今年度は、活動の種類別に

- ・人権コンサート（2団体）
- ・人権講演会（2団体）
- ・人権ふれあい交流（3団体）
- ・その他（歌と劇 1団体、啓発資料作成 1団体）

偏見や差別意識をなくし、助け合う社会づくりの推進につながる9つの団体の活動を支援させていただきました。

（企画啓発課 竹村）

ピックアップ

ミニ番組「心呼吸しよう」を制作・テレビ放送しました

マスメディアを活用した人権啓発として、各市町村で実施される人権啓発の取り組みやセンターの事業等を素材にした5分間のミニ番組「心呼吸しよう」を制作・放送しています。

今年度は、KSSさんさんテレビで6月から2月の毎月最終日曜日の夕方に放送し、翌月曜日に再放送を行いました。

ノーマライゼーション、男女共同参画、プロスポーツとの連携、アサーティブコミュニケーション、子どもの虐待を防ぐ、女性の視点に立った防災活動、セカンドライフの充実、デートDVをテーマに放送を行いました。過去の放送分は、KSSさんさんテレビのホームページでご覧いただけますので、インターネットを使っての研修会などにぜひご活用ください。

（研修啓発課 谷脇）





Information お知らせ



啓発冊子の紹介

平成25年度人権啓発研修テキスト

最近、県や市町村の職員、企業や団体のみなさんから、職場での人権研修の企画や内容、進め方等についての質問や相談が多くあります。また、研修用の資料や視聴覚教材等の問い合わせも増えてきています。

そのため、各職場での人権研修に、より活かせるプログラムや教材、資料等を掲載した人権啓発研修テキストを作成しています。

ご希望により無料配布しますので、ぜひご利用ください。

(ご希望の方は、下記の問い合わせ先までどうぞ)

(研修啓発課 高見)

- 内容
 - ・職場の人間関係とパワーハラスメント
 - ・職場の人間関係と同和問題
 - ・職場の人間関係と障がい者の人権
 - ・職場の人間関係と高齢者の人権
- 発行 平成26年3月末



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを行っていますので
ぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。直接
来所できない場合は送付もしています。
(送料は利用者のご負担となります)



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名(机を使用する場合は180名)
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>